

Syllabus ID	syl-132332		
Subject ID	sub-132007700		
更新履歴	20130315新規		
授業科目名	留学生日本語 Japanese for International Students		
担当教員名	高澤 啓子 Keiko TAKASAWA		
対象クラス	機械工学科・電気電子工学科・制御情報工学科4年生 留学生		
単位数	2履修単位		
必修／選択	選択		
開講時期	通年		
授業区分	語学		
授業形態	講義		
実施場所	共通棟2F 留学生選択教室		
授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)			
専門学校、大学などで必要な論理的文章の読解・作成、資料の読み取り・分析、プレゼンテーションに関する訓練を通し、日本で留学生活を送る上で必要なコミュニケーション能力と、日本語で学習研究活動を行うために必要な日本語能力を養う。後期後半では、日本の大学に編入学する際の進学と奨学金応募のための面接指導も含む。			
準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)			
日本語能力試験N2レベルの日本語能力			
学習・教育目標	Weight	目標	説明
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	◎	D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
D 日本語による論理的文章の作文力、口頭発表力、正しく伝わるコミュニケーション能力を養う。適切な文法・語彙・表現によるレポート作成能力の向上。異文化理解。			
学習・教育目標の達成度検査	1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験をもって行う。 2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格をもって当該する学習・教育目標の達成とする。 3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。		
授業目標			
自分の専門分野の論文を独力で読むことが出来る。論理的文章を書くことが出来る。知識として得た用語と表現を使用して実際にコミュニケーションが出来る。教科書の読解、講義の聴講、実験実技を円滑に行うことが出来る。「日本(人・社会)」という異文化を理解しカルチャーショックを克服出来る。			
授業計画 (プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)			
回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	前期オリエンテーション	授業概要、評価基準等の説明。地震と防災について。	
第2回	文体	レポート・論文に使われる文体	
第3回	文の基本	自動詞・受け身を使った文	
第4回	文の基本	助詞「は」と「が」の使い分け	
第5回	文の基本	語や文の名詞化、首尾一貫した文	
第6回	句読点	句読点の打ち方	
第7回	記号	各種記号の使い方	
第8回	前期中間試験		×
第9回	引用	引用の種類	
第10回	段落	段落構成、段落相互の関係	
第11回	段落	段落構成、段落相互の関係	
第12回	仕組みの説明	仕組みや状態の説明に使われる文型	
第13回	仕組みの説明	仕組みや状態の説明に使われる文型	
第14回	時間的経過の説	時間的な経過の説明に使われる文型・表現	
第15回	時間的経過の説	時間的な経過の説明に使われる文型・表現	

第16回	前期末試験		
第17回	テーマ学習	高専祭参加(展示発表)	×
第18回	後期オリエンテーション	教育目標、授業概要、スケジュール等の説明	
第19回	テーマ学習	高専祭参加(展示発表)	
第20回	テーマ学習	高専祭参加(展示発表)	
第21回	テーマ学習	高専祭参加(展示発表)	
第22回	分類	分類に使われる文型・表現	
第23回	分類	分類に使われる文型・表現	
第24回	定義	定義によく使われる文型・表現	
第25回	後期中間試験		×
第26回	定義	定義によく使われる文型・表現	
第27回	定義	定義の文を作る	
第28回	要約	1段落の文章の要約	
第29回	要約	複数の段落から成る文章の要約	
第30回	面接	面接とは何か、面接を受けるために	
第31回	面接	進学と奨学金応募のための面接練習	
第32回	面接	進学と奨学金応募のための面接練習	
第33回	学年末試験		
第34回	面接	進学と奨学金応募のための面接練習	×
課題			
1. ①沼津国際交流協会にほんごスピーチコンテスト出場、②自由テーマの作文提出のうちいずれか			
評価方法と基準			
評価方法: 試験、課題、授業に臨む姿勢等を総合的に評価			
評価基準: 前期・後期(試験50%, 課題・提出物30%, 出席・授業態度20%) 学年末評価(前期40%, 後期40%, 選択課題20%)			
教科書等	前期・後期(試験50%, 課題・提出物30%, 出席・授業態度20%) 学年末評価(前期40%, 後期40%, 選択課題20%)		
先修科目	中級日本語、日本事情、英語		
関連サイトのURL			
授業アンケートへの対応	習熟度に合わせシラバスの変更。課題の増減		
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。		